

令和6年度 応援・コーチング・審判等について

I 応援について

1 応援全般について

- ①応援は、あくまでも味方選手の対しての応援です。
- ②相手選手のミス（例えばダブルフォルトや簡単なミスショット等）に対しての拍手等の応援はやめて下さい。

2 個人戦の応援

拍手のみ。声を出しての応援は禁止です。

3 団体戦の応援 ～全国高体連テニス部の規定に基づく～

- ①歌を歌うことや何度も連呼する応援は、練習の時のみ認めます。
- ② ①以外の場合でのリズムのある応援は禁止です。
- ③ポイント間やコートチェンジ時には、連呼は1回まで認めます。
例えば 「〇〇ばんかーい！ ばんかーい！」
「一本せんこーう！ せんこーう！」
- ④組織的な応援は練習時までとし、できるだけ個人的な応援をお願いします。
- ⑤2面以上の展開時に、複数コートの応援を同時にすることはできません。
(自分の応援している隣のコートの応援はしないで下さい。)

※4 保護者の応援について

上記の規定への協力を依頼する。

保護者の皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

II 1stサーブと2ndサーブの連続性について

- ・連続プレーをお願いします。
- ・相手に対する威嚇や中傷・故意に間をとるなどの行為は禁止します。
- ・1stサーブと2ndサーブの間に応援や拍手をすることはできません。

Ⅲ 個人戦について

- (1) 選手にアドバイスやコーチングを行うことはできません。
- (2) 個人戦本戦は、2人審判制（主審・副審）を採用します。
（予選でもできるだけ2人制でお願いします。）
- (3) 個人戦の本戦で、同日に単復の試合がある時に、選手が単復両方に出場する場合には、審判要員の生徒を連れてきて下さい。
理由 シングルス終了後（勝ち残った後や負けた後）にすぐにダブルスに入るため、この時に選手でない審判要員の生徒に（敗者）審判をお願いしたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いします。
- (4) 各大会の最終日は自校の選手が関係しない試合の審判をします。必ず選手1名につき1人の審判要員の生徒を連れてきて下さい。

※令和6年度は、すべての試合をセルフジャッジで行う予定です。

そのため(2)～(4)の規定を採用しません。

Ⅳ 団体戦について

- (1) ベンチコーチ
- ① 監督または登録された選手だけが入れます。
 - ② 試合中は、コートチェンジ時に選手にアドバイスする時以外は、ベンチに座っていて下さい。コートの後ろやベンチ前に立っていることはできません。
 - ③ タイブレーク中のコートチェンジ時に、アドバイスはできません。(給水のみ可)
 - ④ 2面以上の展開時に、同時に複数コートの選手への指示・応援はできません。
- (2) 団体戦の審判について
- ① 初戦を除き、敗者審判とします。初戦は対戦校で出し合ってもらいます。
 - ② 2回戦以降の試合については、自校に勝った相手校の次の対戦の審判を行います。必ず団体戦の登録選手が行ってください。
 - ③ 決勝リーグは、自校が関係しない対戦の審判を行います。各学校とも本戦選手または同等な実力を持つ生徒でお願いします。

※令和6年度は、すべての試合をセルフジャッジで行う予定です。

そのため(2)①～③の規定を採用しません。

令和6年 3月 8日

群馬県高体連テニス専門部